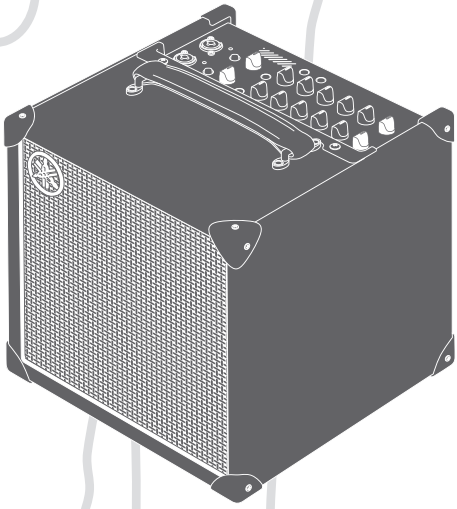
YAMAHA

GUITAR AMPLIFIER
AMPLIFICATEUR POUR GUITARE
GITARRENVERSTÄRKER
AMPLIFICADOR DE GUITARRA
AMPLIFICADOR DE GUITARRA
AMPLIFICATORE PER CHITARRA
ГИТАРНЫЙ УСИЛИТЕЛЬ
吉它放大器
吉他擴大機
기타 앰프
ギターアンプ

Acompass 60

Owner's Manual
Mode d'emploi
Benutzerhandbuch
Manual do Proprietário
Manual de instrucciones
Manuale di istruzioni
Руководство пользователя
使用说明书
使用說明書
사용설명서
取扱説明書



EN FR DE PT ES IT RU ZH-CN ZH-TW KO JA

English
Français
Deutsch
Português
Español
Italiano
Русский
简体中文
繁體中文
한국어
日本語

はじめに

このたびは、ヤマハ Acompass 60 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品はシンガーソングライターが伝えたい歌と音をそのままオーディエンスに届けるパフォーマンス用アコースティックギターアンプです。
本製品に搭載された機能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、本書および同梱のセーフティーインストラクションシートを必ずよくお読みになってからご使用ください。
また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してくださいますようお願いします。

目次

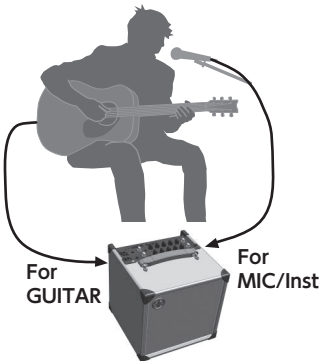
本製品の特長 **3**
同梱品一覧 **3**
各部の名称 **4**
トップパネル 4
リアパネル 6
電源の準備 **7**
家庭用コンセントから電源を取る 7
電源のオン / スタンバイ 7
ギター / マイクを接続する **8**
接続例 8
接続と設定 10
Bluetooth 機器を接続する **12**
Bluetooth 機器を登録する (ペアリング) 12
Bluetooth 機器と接続する 13
Bluetooth 機器との接続を解除する 13
困ったときは **14**
資料 **16**
本体仕様 16
LED 表示 17
オーディオシグナルフロー 17

本製品の特長

プレイヤーが伝えたい歌と音をそのままオーディエンスに届ける「ピュアサウンド」設計。

ギター用チャンネルと、ボーカル / 楽器用チャンネルを完全分離 各チャンネルに入力端子と操作系統を独立装備

・それぞれに PHANTOM 電源供給のオン / オフができ、どちらの入力にもコンデンサーマイクの使用が可能です。

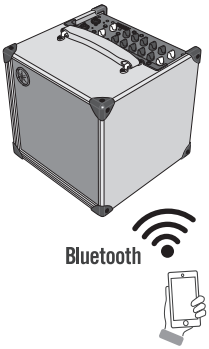


音の輪郭をハッキリさせて音抜けを良くする「ENHANCER」をどちらのチャンネルにも搭載

・ボーカル / ギターの存在感をそれぞれ際立たせることが可能です。

3Band の EQ や REVERB 等のエフェクターをどちらのチャンネルにも搭載

・ワンノブで直感的に音作りが可能です。



自動的にハウリングを抑制する「FEEDBACK SUPPRESSOR」を搭載

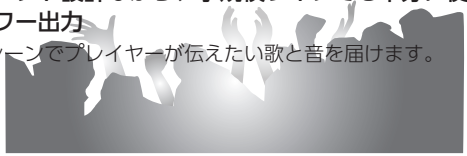
・専任の音響オペレーターがいなくても、プレイヤーは演奏に集中できます。

Bluetooth での無線入力、AUX IN 端子への有線入力どちらにも対応

・スマートデバイスやコンピューター等の外部機器からの再生音をバックに演奏が可能です。

可搬性に優れたコンパクト設計ながら、小規模ライブでも十分に使える 60W のハイパワー出力

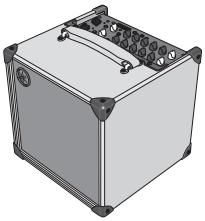
・場所を選ばず幅広いシーンでプレイヤーが伝えたい歌と音を届けます。



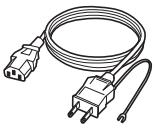
同梱品一覧

同梱品がすべてそろっていることを確認してください。

□ **製品本体× 1**



□ **電源コード× 1**



□ **取扱説明書 (本書) × 1**

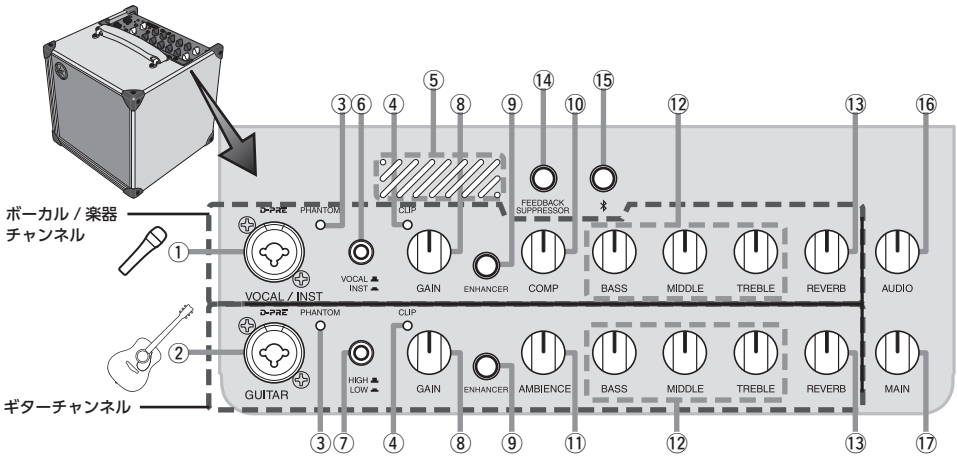
□ **セーフティーインストラクションシート× 1**

□ **サービス拠点案内チラシ× 1**

各部の名称

■ トップパネル

本製品の各機能を一括コントロールします。
独立したボーカル / 楽器チャンネルとギターチャンネルとで自由度の高い設定が可能です。



① [VOCAL/INST] 端子

マイクや楽器などを接続するコンボジャック端子です。この端子には、XLR タイプまたはフォーンタイプ (アンバランス) のプラグを接続できます。

② [GUITAR] 端子

ギターやマイクを接続するコンボジャック端子です。この端子には、XLR タイプまたはフォーンタイプ (アンバランス) のプラグを接続できます。

③ [PHANTOM] ランプ

①/② の端子へ接続したコンデンサーマイクにファンタム電源を供給しているとき点灯します。ファンタム電源はリアパネルの ㉑ **[PHANTOM]** スイッチでオン / オフを切り替えます。

④ [CLIP] ランプ

①/② の端子からの入力信号が過大のときに点灯します。その場合は ⑧ **[GAIN]** ノブで調整します。

⑤ 電源ランプ

電源オンの時に点灯します。

⑥ [VOCAL/INST] スイッチ

接続する機材の信号レベルに合わせて切り替えます。マイクを接続するときは “VOCAL” 側に、電子楽器などを接続するときは “INST” 側にします。

⑦ [HIGH/LOW] スイッチ

使用するギターやマイクの信号レベルに合わせて調節します。音が小さい場合は HIGH 側に、音がすぐ割れる (CLIP する) 場合は LOW 側にします。

⑧ [GAIN] ノブ

①/② の端子に接続した機材の入力信号レベルを調節します。

⑨ [ENHANCER] ボタン

音の輪郭をハッキリさせて音抜けを良くします。どちらのチャンネル側でもオン / オフができボーカル / ギターの存在感をそれぞれ際立たせることが可能です。

⑩ [COMP] ノブ

歌唱の音量を均一にするエフェクト「ボーカルコンプレッサー」のかかり具合を調節します。このエフェクトを使うと、囁くように歌った場合でも十分な音量で再生できます。右に回すほど音量が均一になり、小さい声で歌った場合でも反応するようになります。

⑪ [AMBIENCE] ノブ

楽器のボディ共鳴音をシミュレートするエフェクト「アンビエンス」のかかり具合を調節します。アコースティックギターの自然な箱鳴り感を再現します。右方向に回すほど深くかかります。

⑫ 3 バンド EQ

①/② の端子に接続したマイク / 楽器やギターの各音域の周波数特性を調節して音色 (ねいろ) をコントロールします。



[BASS] ノブ

右方向に回すほど低音域が強調されます。

[MIDDLE] ノブ

右方向に回すほど中音域が強調されます。

[TREBLE] ノブ

右方向に回すほど高音域が強調されます。

⑬ [REVERB] ノブ

リバーブ (残響効果) のかかり具合を調節します。①/②の端子に接続したマイク / 楽器やギターにそれぞれかけることができます。リバーブは右方向に回すほど深くかかります。

⑭ [FEEDBACK SUPPRESSOR] ボタン

自動的にハウリングを抑制します。専任の音響オペレーターがいなくてもプレイヤーは演奏に集中できます。

⑮ [ ](Bluetooth) ボタン

Bluetooth 対応の機器を接続します。スマートデバイス / コンピューター内の音楽を再生しながら演奏することができます。(→ 12 ページ)

NOTE

- **Bluetooth 接続された機器の音声信号は、[AUX IN] 端子から入力された音声信号とモノラルミックスされます。ミックスされた信号 (=オーディオ入力信号) の音量は⑯ [AUDIO] ノブで調節できます。**

⑯ [AUDIO] ノブ

外部からのオーディオ入力信号の音量を調節します。

⑰ [MAIN] ノブ

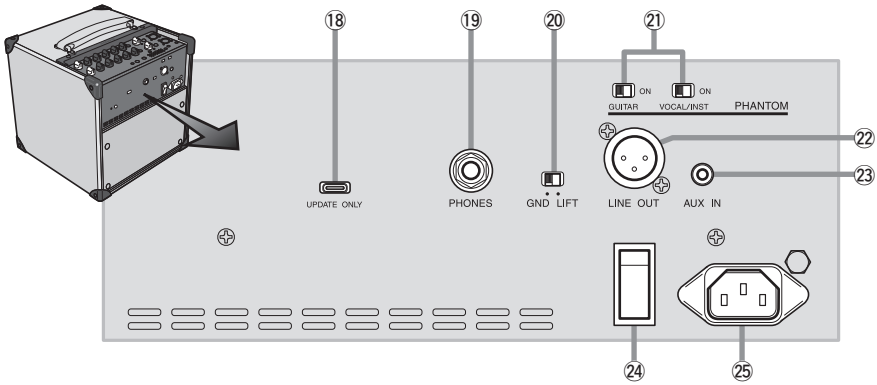
スピーカー /[PHONES] 端子から出力される全体の音量を調節します。

NOTE

- **[MAIN] ノブの操作で [LINE OUT] 端子からの出力音量は変わりません。**

■ リアパネル

電源の供給や外部機器との接続をします。



⑱ [UPDATE ONLY] (USB Type-C) 端子

コンピューターと接続して**ファームウェアアップデート** * するための専用端子です。

ご注意

- **USB ケーブルは A-C タイプで、3 メートル未満のものをご使用ください。USB3.0 ケーブルは使用できません。**

⑲ [PHONES] 端子

ヘッドホンを接続するステレオフォーン端子です。

NOTE

- **[PHONES] 端子にヘッドホンを接続しているときは、本体スピーカーから音は出ません。**

⑳ [GND/LIFT] スイッチ

ノイズが発生する場合にノイズを軽減するスイッチです。"GND" 側にすると信号がグラウンドに接続され信号ケーブル内で拾われるハムやバズ音を軽減できます。

㉑ [PHANTOM] スイッチ

[VOCAL/INST] 端子や **[GUITAR]** 端子にコンデンサーマイクを接続したときそれぞれに独立してファンタム電源を供給できます。

㉒ [LINE OUT] 端子

ラインレベルのオーディオ信号をモノラル出力する XLR 端子です。ライン入力を持つ音響機器などと接続して録音や拡声をすることができます。

㉓ [AUX IN] 端子

オーディオなどの外部機器を有線接続するステレオミニフォーン端子です。

㉔ 電源スイッチ

電源のオン / スタンバイを切り替えます。

㉕ 電源コード接続端子

同梱の電源コードで電源コンセントにつなぎます。

*** ファームウェアアップデートの詳しい内容は、ヤマハウェブサイトの製品情報ページをご覧ください。**

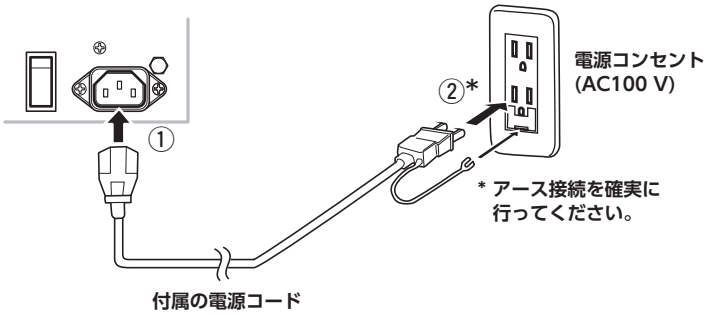
電源の準備

■ 家庭用コンセントから電源を取る

リアパネルの電源コード接続端子に、図の手順で電源コードを接続します。

必ず実行

• 接続の前に、同梱のセーフティインストラクションズシートを必ずお読みください。



NOTE

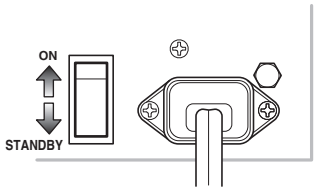
• 電源コードを外すときは、① ～ ② を逆の順番で行ってください。

■ 電源のオン / スタンバイ

リアパネルの電源スイッチでオン / スタンバイを切り替えます。

必ず実行

• 電源オン / スタンバイの前に、同梱のセーフティインストラクションシートを必ずお読みください。



ご注意

• 使用後は、必ず電源をスタンバイにしてください。

ギター / マイクを接続する

Acompass 60 は、音声ケーブルによる有線接続と、Bluetooth による無線接続が可能です。

- 接続例を参考にしながら Acompass 60 に接続してみましょう。
  接続する機材の信号レベルに合わせて **[VOCAL/INST]** や **[HIGH/LOW]** スイッチを切り替えます。
- コンデンサーマイクを接続した場合はリアパネルの **[PHANTOM]** スイッチを ON にします。

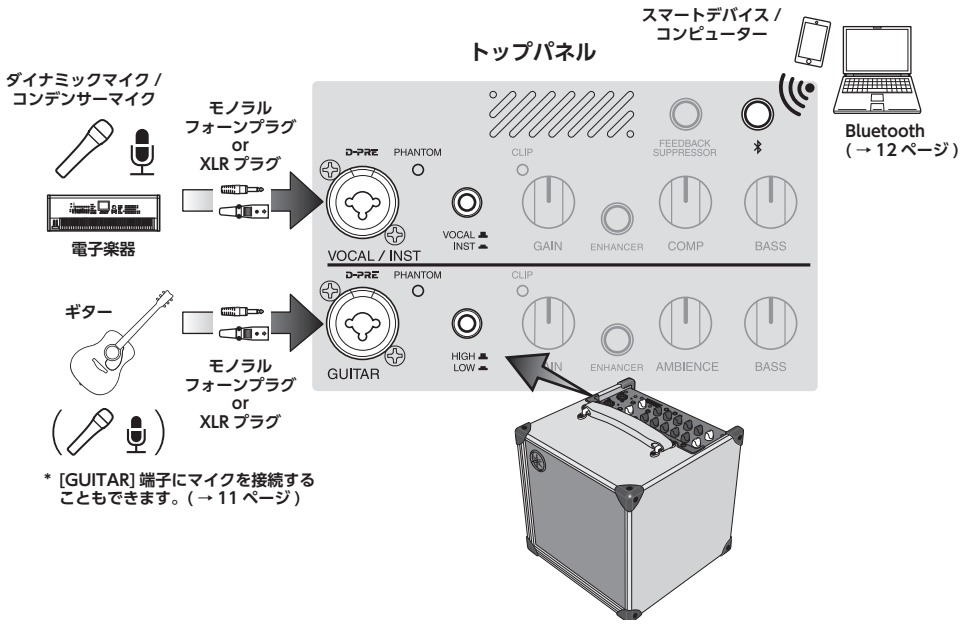
注意

ファンタム電源が不要な場合、[PHANTOM] スイッチをオフにしてください。

ファンタム電源をオンにする場合、本体や外部機器の故障やノイズを防ぐために次の内容にご注意ください。

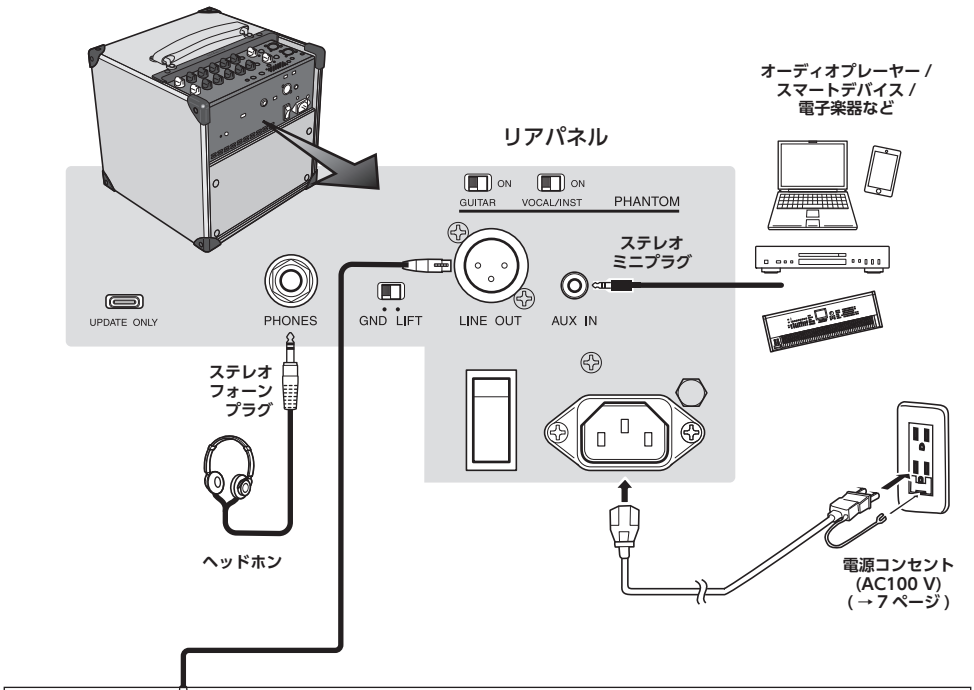
- [VOCAL/INST] 端子または [GUITAR] 端子にファンタム電源非対応の機器を接続するときは、[PHANTOM] スイッチをオフにする。
- [PHANTOM] スイッチをオンにしたまま音声ケーブルの抜き差しをしない。
- ファンタム電源のオン / オフは、[MAIN] ノブでボリュームを最小にした状態で行う。

接続例



ご注意

- 有線接続は、すべての機器の電源を切った状態で行ってください。
- 外部機器と接続するときは、必ず各端子の形状 / 規格に合ったプラグのケーブルを使ってください。



ご注意

- 接続する音響機器の損傷を防ぐため、下記の順番で電源をオン / オフしてください。

  電源をオンにする順番

  Acompass 60 → ミキサー → アンプ (パワードスピーカー)

  電源をオフまたはスタンバイする順番

  アンプ (パワードスピーカー) → ミキサー → Acompass 60

NOTE

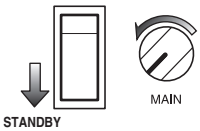
- [LINE OUT] 端子からの出力レベルは固定です。[MAIN] ノブを動かしても変化しません。

接続と設定

以下の例を参考にしながら Acompass 60 に機材を接続して音を出してみましょう。

● ケース 1：ギター＋ボーカル





1. **Acompass 60 の電源をスタンバイにした状態で、[MAIN] ノブを最小まで下げます。**



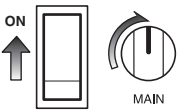
2. **接続例を参考にしながら [VOCAL/INST] 端子にマイクを音声ケーブルで接続して、[VOCAL/INST] スイッチを“VOCAL”側（ ）にします。**

コンデンサーマイクを接続した場合は、リアパネルの **[PHANTOM]-[VOCAL/INST]** スイッチを **ON 側**にします。





3. **接続例を参考にしながら [GUITAR] 端子にギターを音声ケーブルで接続します。ギターの信号レベルに合わせて [HIGH/LOW] スイッチを切り替えて調節します。**



4. **Acompass 60 の電源をオンにして、[MAIN] ノブを元の位置に戻します。**



5. **接続したマイクやギターで音を出しながら [GAIN] ノブでそれぞれの入力レベルを調節します。**

入力が大きすぎると **[CLIP]** ランプ点灯します。その場合は **[GAIN]** ノブで入力レベルを下げます。



6. **[MAIN] ノブで全体の音量を調節します。**

組み合わせ自由自在。ケース 1 の例をさらにいろいろ応用できます。

● ケース 2：ギター＋ボーカル＋伴奏 (無線)

スマートデバイスなどを Bluetooth 接続 (→ 12 ページ) して、伴奏に合わせて演奏できます。



[AUDIO] ノブで伴奏の音量を調節します。



NOTE

- **Bluetooth 接続された機器の音声信号は、[AUX IN] 端子から入力された音声信号とモノラルミックスされます。**

● ケース 3：ギター＋ボーカル＋伴奏 (有線)

[AUX IN] 端子に音楽プレーヤーや電子楽器を有線接続して、伴奏に合わせて演奏できます。



[AUDIO] ノブで伴奏の音量を調節します。



NOTE

- **[AUX IN] 端子から入力された音声信号は、Bluetooth 接続された機器の音声信号とモノラルミックスされます。**

● ケース 4:　ギター (マイク) ＋ ボーカル

[GUITAR] 端子側にもマイクを接続して、ギターの集音ができます。
その場合はマイクの信号レベルに合わせて **[HIGH/LOW]** スイッチを切り替えて調節します。



コンデンサーマイクを接続した場合は
リアパネルの **[PHANTOM]**-**[GUITAR]**
スイッチを **“ON”** 側にします。



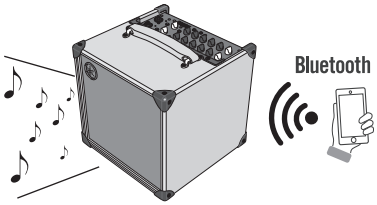


ご注意

- **有線接続は、すべての機器の電源を切った状態で行ってください。**

Bluetooth 機器を接続する

本製品は、Bluetooth 接続したスマートデバイスでの再生音や伴奏を聴きながら、演奏することもできます。



Bluetooth 機器を登録する (ペアリング)

本製品と初めて接続する Bluetooth 機器の場合は、次の手順で本製品と Bluetooth 機器をお互いに登録 (ペアリング) してください。

1. 本製品を登録待ち状態にします。

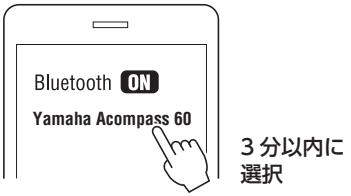
本製品の電源がオンの状態で、Bluetooth ボタンをボタンのランプが点滅するまで押し続けると、本製品が登録 (ペアリング) 待ち状態になります。



2. Bluetooth 機器側の Bluetooth 機能をオンにします。

接続可能な Bluetooth 機器のリストが表示されます。

3. Bluetooth 機器側のリストから本製品を選びます。



接続が完了すると Bluetooth ボタンが点灯します。

4. Bluetooth 機器側で音楽を再生します。トップパネルの [AUDIO] ノブで音量を調節します。



注意 **Bluetooth 機器の音量を下げてから再生を開始して、徐々に音量を上げてください。聴覚障害の原因になります。**

NOTE

- 本製品の登録待ち状態は、約 3 分経過すると自動的に終了します。もう一度登録する場合は、最初の手順からやり直してください。
- 接続するときにパスキーが必要な場合は、「0000」を入力してください。

Bluetooth 機器と接続する

登録 (ペアリング) 済みの Bluetooth 機器と接続します。

Bluetooth ボタンを短く押すと、最後に接続した Bluetooth 機器を検索し、自動的に接続します。



自動的に接続されなかった場合は、本製品は接続待ち状態になります。Bluetooth 機器側から本製品を接続してください。

接続が完了するとボタンのランプが点灯します。

NOTE

- **本製品は、1 台の Bluetooth 機器と接続します。複数の機器との同時接続には対応していません。**

Bluetooth 機器との接続を解除する

接続を解除するときは、Bluetooth ボタンを短く押します。



解除されるとボタンのランプが消灯します。

困ったときは

電源が入らない

- 付属の電源コードを正しく接続してください (→ 7 ページ)。

音が出ない

ギターの音が出ない

- [GUITAR] 端子にギターを正しく接続してください (→ 8 ページ)。
- ギターのボリュームが上がっていることを確認してください。
- [MAIN] ノブが最小ではないことを確認してください (→ 10 ページ)。
- Acompass 60 本体のスピーカーから音を出す場合は、[PHONES] 端子にヘッドホンを接続しないでください (→ 6 ページ)。
- ケーブルが断線していないか確認してください。

マイクや楽器の音が出ない

- [VOCAL/INST] 端子にマイクや楽器を正しく接続してください (→ 8 ページ)。
- 楽器のボリュームが上がっていることを確認してください。
- コンデンサーマイクを接続しているときは、接続した端子側の [PHANTOM] スイッチを“ON”側にしてください (→ 6 ページ)。
- [MAIN] ノブが最小ではないことを確認してください (→ 5 ページ)。
- Acompass 60 本体のスピーカーから音を出す場合は、[PHONES] 端子にヘッドホンを接続しないでください (→ 6 ページ)。
- ケーブルが断線していないか確認してください。

[AUX IN] に接続した外部機器の音が出ない

- 外部機器とのケーブルを正しく接続してください (→ 9 ページ)。
- 外部機器のボリュームが上がっていることを確認してください。
- ケーブルが断線していないか確認してください。

Bluetooth 接続した外部機器の音が出ない

- ペアリングしてください (→ 12 ページ)。
- 外部機器のボリュームが上がっていることを確認してください。

音が小さい

本体スピーカーの音量が小さい

- [MAIN] ノブで音量を上げてください (→ 5 ページ)。
- [VOCAL/INST] スイッチや [HIGH/LOW] スイッチを正しく設定してください (→ 4 ページ)。

ヘッドホンの音量が小さい

- [MAIN] ノブで音量を上げてください (→ 5 ページ)。
- [VOCAL/INST] スイッチや [HIGH/LOW] スイッチを正しく設定してください (→ 4 ページ)。
- ヘッドホン側にボリューム調節機能がある場合、音量が下がっていないことを確認してください。

[AUX IN] に接続した外部機器の音量が小さい

- 外部機器の音量を上げてください。
- [AUDIO] ノブで音量が下がっていないことを確認してください (→ 5 ページ)。

Bluetooth 接続した外部機器の音量が小さい

- 外部機器の音量を上げてください。
- [AUDIO] ノブで音量が下がっていないことを確認してください (→ 5 ページ)。

Bluetooth 機器と接続できない

状況に応じて以下の対応をしてください。

本製品と Bluetooth 機器の距離が離れすぎている

- 本製品と Bluetooth 機器を近づけてください。

電磁波を発する機器 (電子レンジ、無線機器など) がそばにある

- 電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。

Bluetooth 機器に登録されている接続情報が正しく機能していない

- Bluetooth 機器の接続情報を削除してから、本製品と Bluetooth 機器のペアリングを行ってください (→ 12 ページ)。

本製品に登録された Bluetooth 機器の登録情報が削除された

- 再度、ペアリングを行ってください (→ 12 ページ)。

本製品が別の Bluetooth 機器と接続している

- Bluetooth 機器の接続を切断してから、新しい Bluetooth 機器を接続してください。

その他

マイクがハウリングを起こす

- [FEEDBACK SUPPRESSOR] をオンにしてください (→ 5 ページ)。
- マイクの向きを Acompass 60 のスピーカーと反対方向にしてください。
- マイクと Acompass 60 の距離を広げてください。

[LINE OUT] 端子からノイズが出る

- [GND/LIFT] スイッチを“GND”側に切り替えてください (→ 6 ページ)。

[LINE OUT] 端子からの出力音量が変わらない

- 接続した音響機器側で入力レベルを調節してください。

  * [LINE OUT] 端子からの出力レベルは固定されているため [MAIN] ノブを動かしても変化しません。

解決しない場合は (サポート窓口)

問題が解決しない場合は、次の窓口にお問い合わせください。

● 日本国内のお客様

お買い上げ店、または同梱チラシ掲載の「お問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

● 日本以外の地域のお客様

お近くのヤマハ正規ディーラーまたはサービスセンターまでお問い合わせください。

資料

本体仕様

エフェクト / 機能：
- ENHANCER
- AMBIENCE
- COMPRESSOR
- REVERB

- FEEDBACK SUPPRESSOR

操作子：
- GAIN × 2
- MIC/INST
- HIGH/LOW
- ENHANCER × 2
- AMBIENCE
- COMPRESSOR
- BASS × 2
- MIDDLE × 2
- TREBLE × 2
- REVERB × 2
- FEEDBACK SUPPRESSOR
- Bluetooth
- MAIN
- AUDIO
- PHANTOM × 2
- GND/LIFT
- POWER

入出力端子：
- GUITAR (XLR：バランス / 標準フォーンモノジャック：アンバランス)
- MIC/INST (XLR：バランス / 標準フォーンモノジャック：アンバランス)
- LINE OUT (XLR：バランス)
- PHONES (ステレオ標準フォーンジャック)
- AUX (ステレオミニジャック)
- UPDATE ONLY (USB Type-C)
- AC Inlet (100 ～ 240 V 50/60 Hz)

入力レベル：

■ **VOCAL/INST チャンネル**

マイク入力：− 40 dBu（XLR：3 k Ω）
ライン入力：− 10 dBu
（XLR：3 k Ω / PHONE：1 M Ω）
VOCAL/INST スイッチ：
VOCAL 0 dB/ INST − 14 dB

■ **GUITAR チャンネル**

マイク入力：− 40 dBu（XLR：3 k Ω）
ライン入力：− 10 dBu
（XLR：3 k Ω / PHONE：1 M Ω）
HIGH/LOW スイッチ：
HIGH 0 dB/ LOW − 14 dB

■ **AUX IN チャンネル**

ライン入力：− 10 dBu
（ステレオミニ PHONE：10 k Ω）

Bluetooth：

Bluetooth バージョン：Bluetooth Ver. 5.2
対応プロファイル：A2DP
対応コーデック：SBC
無線出力 : Bluetooth class 2
無線周波数：2402 MHz ～ 2480 MHz
最大出力電力 (EIRP)：+2 dBm
最大通信距離：約 10 m (障害物がないこと)

PHONES 出力：10 mW

定格出力：60 W

電源電圧：100 ～ 240 V 50/60 Hz

消費電力：20 W (1/8 出力)

待機電力：0 W

寸法 (H × W × D)：310 × 300 × 300 mm

質量：8.2 kg

付属品：
- 電源コード × 1
- 取扱説明書 × 1
- セーフティーインストラクションシート × 1
- サービス拠点案内チラシ × 1

* 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

LED 表示

本製品の LED の主な表示内容は次のとおりです。

■ 通常モード

電源ランプ		
電源　オン	点灯	
電源　スタンバイ	消灯	
[PHANTOM] ランプ		
ファンタム電源　オン	点灯	PHANTOM
ファンタム電源　オフ	消灯	PHANTOM
[CLIP] ランプ		
入力過大	点灯	CLIP
[ENHANCER] ボタン		
ENHANCER　オン	点灯	ENHANCER
ENHANCER　オフ	消灯	ENHANCER

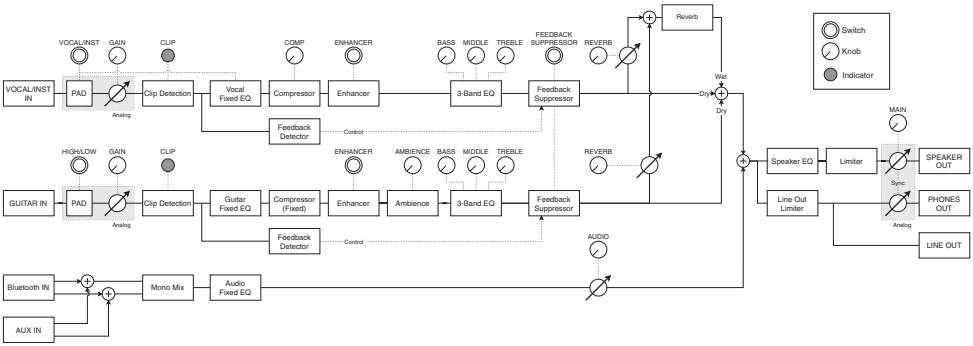
[FEEDBACK SUPPRESSOR] ボタン		
FEEDBACK SUPPRESSOR　オン	点灯	FEEDBACK SUPPRESSOR
FEEDBACK SUPPRESSOR　オフ	消灯	FEEDBACK SUPPRESSOR
Bluetooth ボタン		
ペアリング中	点滅	
Bluetooth 接続中	点灯	

■ ファームウェアアップデートモード

電源ランプ		
アップデートモード起動	点滅	
アップデートのための接続確立	点灯	

- ファームウェアアップデートの詳しい内容は、ヤマハウェブサイトの製品情報ページをご覧ください。

オーディオシグナルフロー



Memo

Software Licenses and Copyrights

This product incorporates the following third party software.

For information (copyright, etc.) about each software, please read the terms and conditions stated below. By using this product, you will be deemed to have accepted the terms and conditions

MCU flashloader

Copyright 2026 NXP Semiconductors N.V.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. **Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.**

2. **Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.**

3. **Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.**

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Yamaha Global Site
https://www.yamaha.com/

Yamaha Downloads
https://download.yamaha.com/

制造商：雅马哈株式会社
制造商地址：日本静冈县滨松市中央区中泽町 10-1
进口商：雅马哈乐器音响（中国）投资有限公司
进口商地址：上海市静安区新闸路 1818 号云和大厦 2 楼
原产地：Indonesia

YAMAHA CORPORATION
10-1 Nakazawa-cho, Chuo-ku,
Hamamatsu, 430-8650 Japan

ヤマハ株式会社
〒430-8650　静岡県浜松市中央区中沢町 10-1

台灣山葉音樂股份有限公司
YAMAHA MUSIC & ELECTRONICS TAIWAN CO., LTD.
https://tw.yamaha.com
總公司 : (02) 7741-8888 新北市板橋區遠東路 3 號 2 樓
客服專線 : 0809-091388

© 2026 Yamaha Corporation
Published 06/2026
2026 年 6 月 发行
IPEI-A0

VJP7110